

【小中学校 総合的な学習の時間】

1. 「探究的な学習」の充実に向けて

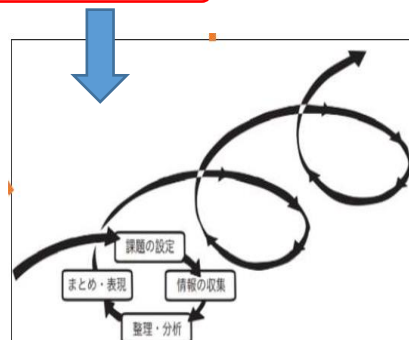
総合的な学習の時間では、「探究的な学習」の充実が大切ってよく言われているけど、「探究的に学ぶ子供の姿」って具体的にどんな姿なんだろう・・・？



探究的な学習・・・物事の本質を探って見極めようとする一連の知的営み

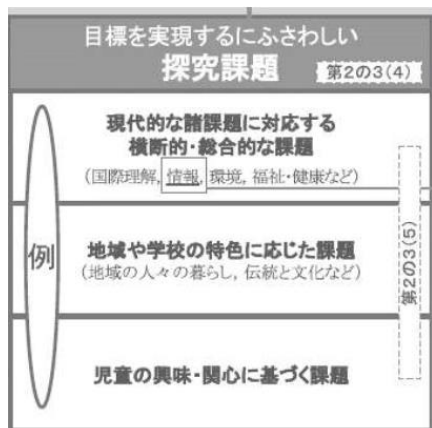
◇「探究的に学ぶ子供の姿」とは？

- ・事象を捉える感性や問題意識が揺さぶられて、学習活動への取組が真剣になる。
- ・身に付けた知識及び技能を活用し、その有用性を実感する。
- ・見方が広がったことを喜び、更なる学習への意欲を高める。
- ・概念が具体性を増して理解が深まる。
- ・学んだことを自己と結び付けて、自分の成長を自覚したり、自己の生き方を考えたりする。



単元構想の段階で、この教材（学習材）で探究的な学習として単元が展開するイメージを思い描くことが大切です。

◇目標を実現するにふさわしい探究課題の設定



ここでいう探究課題とは、児童生徒が設定する課題ではなく、目標実現のために学校として設定した児童生徒が探究的な学習に取り組む課題のことです。

➤探究課題が兼ね備える要件

- ①探究的な見方・考え方を働かせて学習することがふさわしい課題であること
- ②その課題をめぐって展開される学習が、**横断的・総合的な学習**としての性格をもつこと
- ③その課題を学ぶことにより、よりよく課題を解決し、**自己の生き方を考えていくことに結びついていく**ような資質・能力の育成が見込めること

2. 「主体的な学び」につながる授業づくり

総合的な学習の時間においては、児童生徒が設定した課題解決に向けて、主体的に取り組むために、「見通し」と「振り返り」が大切です。総合的な学習の時間においても「主体的な学び」を意識した授業改善をしていくことは、本県が推進している「子供を学びの主体」とする授業力の向上にもつながります。

〔ポイント〕・**見通し**をもたせ期待感を高める・何をどのように学んだか**振り返る**

※見通しの実践例 5つの見通し

- ・結果の見通し「ゴールはどうしますか」
 - ・方法の見通し「何を使って、どうやって学びますか」
 - ・手順の見通し「順番はどうしますか」
 - ・時間の見通し「どれくらいの時間が必要ですか」
 - ・効力の見通し「自分でできそうですか」
- ※協働もOK

○見通しは、はじめは教師と子供がいっしょに考えましょう。見通しをもつことで、場所や場面、状況が変わっても、主体的に学ぶ子供の姿につながります。

○振り返りでは、見通しに対して「うまくいったこと」「うまくいかなかったこと」を振り返りましょう。振り返りをするすることで、「次はこうしてみよう」という主体的な学びにつながっていきます。

